

IMAGENICS

Audio Matrix Switcher

ASX-128128

取扱説明書

お買い上げ頂きありがとうございます。

ASX-128128 は、128入力128出力のアンバランス ステレオ音声信号を、フルマトリックスで高音質に切り換えることができるマトリックススイッチャーです。VSX-128128と連動して動作します。

この取扱説明書をよくご覧になり、十分にご活用下さい。

1.安全にお使いいただくために

本機は、安全に十分配慮して設計されています。しかし、誤った使い方をすると火災や感電等により人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



次の内容を必ずお守りください。もし守らないと火災・感電等により死亡や重症を負うことがあります。



電源の確認

本機は日本国内専用です。

交流 100 V、50 Hz・60 Hz の電源でご使用ください。交流 200 V 系の電源でご使用になられる場合は、弊社までご相談ください。



禁止

電源コードを傷つけないでください。

電源コードを加工したり、傷つけたり、重いものをのせたり、引っ張ったりしないで下さい。また、熱器具に近づけたり加熱したりしないで下さい。火災や感電の原因となることがあります。万一、電源コードが傷んだら、弊社へ修理をご依頼ください。



プラグを抜く

内部に水や異物を入れないでください。

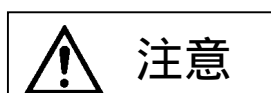
火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜き、弊社までご相談ください。



接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。

感電の原因となることがあります。



次の内容を注意してください。もし守らないとけがをしたり、物的な損害を負ったりすることがあります。



禁止

安定した場所に設置してください。

ぐらついた台の上や傾いたところ等に置くと、落下によりけがの原因になることがあります。



禁止

直射日光の当たる場所や、湿気、ほこり、油煙、湯気の多い場所には置かないでください。

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因になることがあります。また、長期間の使用において内部にほこりがたまると、火災や感電の原因となりますので定期的に内部の清掃をすることをお勧めします。弊社までご相談ください。

つづき  注意

通風孔をふさがらないでください。他の機器や壁、家具、ラック面との間にはすき間をあけてください。



禁止

布等をかけたり、じゅうたんやふとん等柔らかい物の上に置いたりして、通風孔をふさがらないでください。放熱をよくするため、他の機器との間は少し離してください。ラック等に入れる場合は本機とラック面、他の機器との間にすき間をあけてください。過熱して火災や感電の原因になることがあります。ご使用の際は、本体の周辺温度が 0 ~ 40、湿度が 90 % 以下の結露しない風通しのよい場所にてご使用ください。保存される場合は周辺温度 -20 ~ +70、湿度 90 % 以下の結露しない場所にて保存してください。



禁止

電源プラグの抜き差しはプラグの部分を持ってください。

電源プラグを抜くときはコードを引っ張らずに、プラグの部分を持って抜き差ししてください。コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。



接触禁止

濡れた手で電源プラグにさわらないでください。

感電の原因になることがあります。



プラグの確認

定期的に電源プラグのチェックをしてください。

電源コンセントにプラグを長期間差し込んだままにしておくと、その間にほこりやゴミがたまってきます。さらに空気中の水分等を吸湿すると、電気が流れやすくなるため(トラッキング現象)プラグやコンセントが炭化し、ときには発火の原因になることがあります。事故を防ぐため定期的に電源プラグがしっかりささっているか、ほこりがついていないか等を点検してください。



プラグを抜く

移動させるとき、長時間使わないときは電源プラグを抜いてください。

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。長期間使用しないときは安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



プラグを抜く

お手入れのときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因になることがあります。



分解禁止

分解、改造等をしないでください。

感電の原因となることがあります。

内部ディップスイッチの設定等をおこなう場合は、取扱説明書の当該ページをよく読んでうで電源プラグをコンセントから抜き、内部に金属片等異物を残さないよう注意して本体を閉めてから電源を入れてください。内部の点検や修理は弊社へご依頼ください。

正常な使用状態で本機に故障が発生した場合は、弊社は本機の保証書に定められた条件にしたがって修理をいたします。ただし、本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因により通信、録画、再生等において利用の機会を逸したために生じた損害等の付随的損失の補償につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目 次

1. 安全にお使いいただくために.....	2
2. 同梱品	5
3. 前面パネルの説明.....	6
4. 後面パネルの説明.....	7
5. 本体操作方法.....	8
5-1. 入出力チャンネル数の変更	8
6. 外部電源ユニット.....	8
7. 自己診断機能.....	8
8. 主な仕様.....	9

2.同梱品

箱から取り出したら、次のものが入っていることをご確認ください。

ASX-128128本体	1台
電源コード (国内専用 2P-3S)	1本
EIA 19 型ラックマウントアングル (18U)	1組
取扱説明書 (本書)	1部
VSX 連動用ケーブル 2 m (20 芯フラットケーブル)	1本
保証書	1通

万一、内容物に不足がある場合は弊社までご連絡下さい。

以下余白

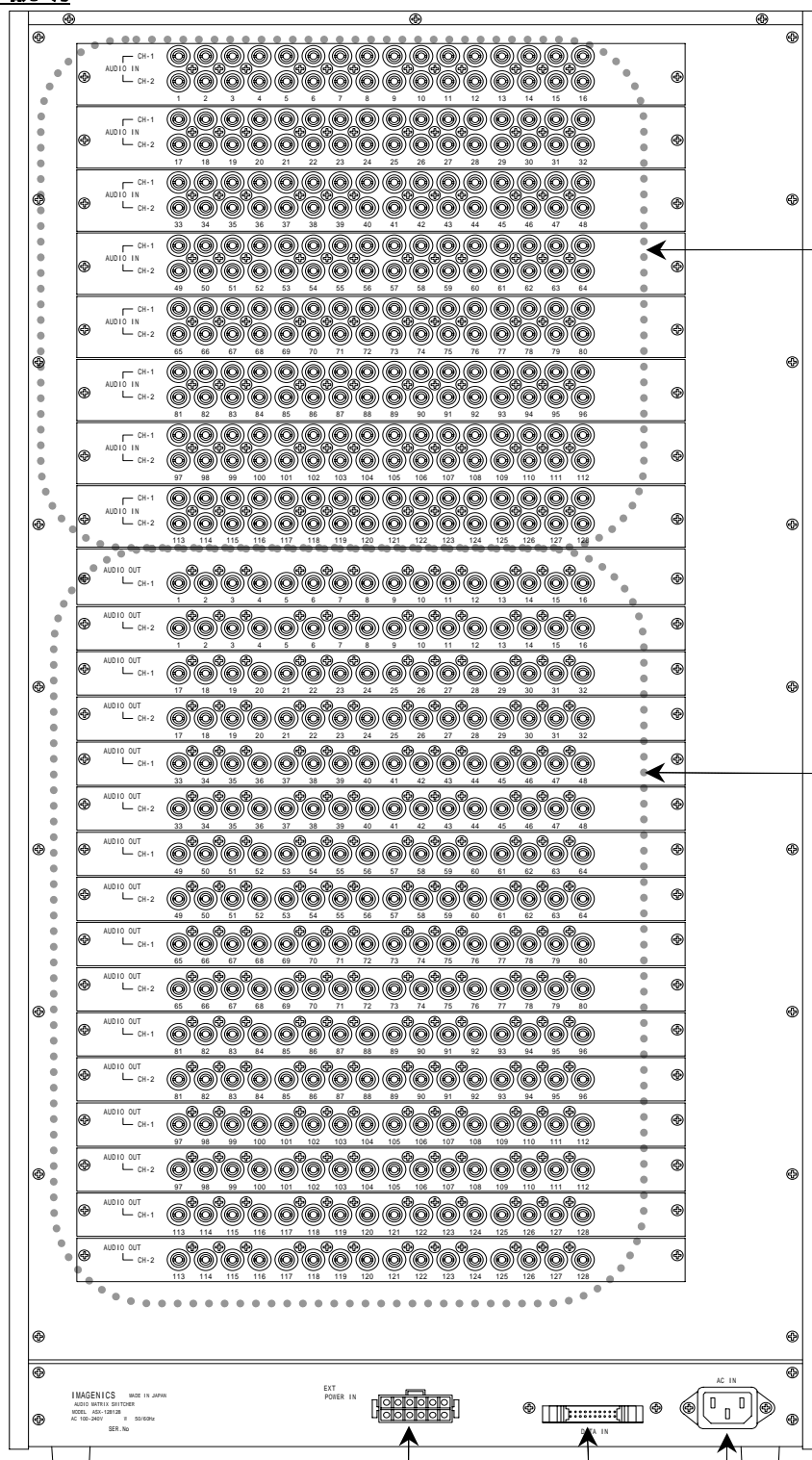
3. 前面パネルの説明



電源パイロットランプ

- ・ 本機の電源コードをコンセントに差し、本機と VSX-128128との間を付属の VSX 連動用ケーブルで接続した後、VSX-128128の電源スイッチを ON 側にすると連動して本機の電源が入りパイロットランプが点灯(緑のランプ)します。

4.後面パネルの説明



音声信号入力(AUDIO IN)コネクタ

- ・ アナログ音声信号を入力します。入力インピーダンスは約 50 k です。
- ・ 本機の入力チャンネル数は、16 単位で増減が可能です。(☞ P.8)

音声信号出力コネクタ

- ・ へ入力した信号の中から、選択された信号が同一レベルで出力されます。出力インピーダンスは 150 Ω の直流結合ですので、外部から直流バイアス電圧は印可しないで下さい。
- ・ 本機の出力チャンネル数は、16 単位で増減が可能です。(☞ P.8)

ご参考：出力 OFF が選択されている場合でも、出力インピーダンスは 150 Ω のままです。(ハイ・インピーダンスにはなりません。)

外部電源ユニット接続コネクタ(EXT PWR)

- ・ 別売の専用外部電源ユニット(PU-100)を、専用外部電源ユニットに付属する専用の接続コードで接続します。
- ・ 専用外部電源ユニット(PU-100)は、本機の電源に連動して動作します。

リモート入力(REMOTE - DATA IN)コネクタ

- ・ 付属の連動用ケーブルで、別売の VSX-128128のリモート出力コネクタに接続します。接続する際、必ず VSX-128128の電源スイッチは OFF の状態で行って下さい。

電源入力コネクタ(AC IN)

- ・ 通常は AC100V(50/60Hz)に接続します。付属の電源コードを差し込んで下さい。

5. 本体操作方法

- ・ 本機は操作パネルや外部制御インタフェースを備えておらず、VSX-128128と連動して動作する仕様です。従って、クロスポイントの操作方法等は VSX-128128の取扱説明書を御参照下さい。

5-1. 入出力チャンネル数の変更

- ・ 本機の入力ボード数を変更した場合、VSX-128128の取扱説明書に従って設定を変更して下さい。
- ・ 本機に装着されている出力ボード数は、VSX-128128の起動時に自動検出しますので、設定は特にありません。出力ボードを増設後、初回の起動ではクロスポイントは OFF が設定されています。

ご注意：入出力ボードの物理的な増設方法は、増設ボードに付属する取扱説明書をご参照下さい。

ご注意：入力ボード数を減らした場合は下記の VSX-128128の取扱説明書に従ってクロスポイントメモリをリセットして下さい。(出力ボード数を増減する場合、および入力ボードを増やす場合は、この操作は不要です。)

6. 外部電源ユニット

- ・ 背面パネルの ① に、別売の外部電源ユニット(PU-100)を装着することが可能です。本機を通電状態のまま、外部電源ユニットの脱着が可能です。
- ・ 外部電源ユニットを使用すると、本機に内蔵の電源はほぼ休止状態となり、本機に必要な電力の殆どは、この外部電源ユニットから供給されます。

ご参考：外部電源ユニットを使用すると、簡易的な電源の二重化が計れ、信頼性が要求されるシステムに最適です。

7. 自己診断機能

- ・ 本機は、内部のスイッチング電源、冷却ファン、および別売の外部電源ユニット(PU-100)の状態を、VSX-128128経由で常時監視しています。

- ・ 異常を検出すると、VSX-128128の前面パネルのファンクションディスプレイのバックライトが点滅します。この場合は、修理が必要ですので、弊社までご連絡下さい。

8.主な仕様

音声信号方式	: アンバランス(不平衡)信号 2チャンネル(ステレオ)		
音声入力	: -10 dBu 50 k	128 系統(コネクタ : RCA ピンジャック)	
音声出力	: -10 dBu(10 k 以上負荷時) ローインピーダンス 128 系統 (コネクタ : RCA ピンジャック)		
音声周波数特性	: 10 Hz ~ 20 kHz +0.5 dB ~ -0.5 dB 以内 (1 kHz 基準)		
音声クロストーク	: 75 dB 以上		
音声 S/N	: 75 dB 以上		
音声歪率	: 0.03 % 以下		
音声最大入力レベル	: +18 dBu		
外部制御	: VSX-128128に連動		
動作温湿度範囲	: 0 ~ 40	20 % RH ~ 90 % RH	(ただし結露なき事)
保存温湿度環境	: -20 ~ 70	20 % RH ~ 90 % RH	(ただし結露なき事)
電源	: AC 100 V ~ AC 240 V 50 Hz ・ 60 Hz 自動切り替え		
消費電力	: 130 W		
質量	: 約37 kg		
外形寸法	: 幅 422 mm × 高さ797 mm × 奥行 312 mm (突起物を除く)		
付属品	: EIA 19 型ラックマウントアングル 1 組、国内専用電源ケーブル 1 本(2P-3S)、 VSX 連動用ケーブル 2 m (20 芯フラットケーブル) 1 本		

- ・ 本書の著作権はイメージニクス株式会社に帰属します。本書の内容の一部または全部をイメージニクス株式会社から事前に許諾を得ることなく複製、改変、引用、転載することを禁止します。
- ・ 本書の内容について、将来予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。
- ・ 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡下さい。
- ・ 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承下さい。
- ・ 本機のハードウェアに対して、リバースエンジニアリング等の手法によって内部を解析し利用することを禁止します。
- ・ 乱丁本、落丁本の場合はお取換え致します。弊社までご連絡下さい。

仕様及び外観は改良のため予告なく変更する事がありますので、予めご了承下さい。

Copyright (c) 2005, IMAGENICS Co., Ltd. All rights reserved.

製造元

イメージニクス株式会社

お問い合わせは下記営業本部または営業所までおねがいします。

Home Page

www.imagenics.co.jp

本社 技術本部

〒182-0022 東京都調布市国領町 1-31-5

TEL 0424-40-7811 FAX 0424-40-7812

営業本部

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-16-7 ハイウェービル 6F

TEL 03-3464-1401 FAX 03-3477-2216

大阪営業所

〒534-0024 大阪市都島区東野田町 1-21-7 ワイティビル 4F

TEL 06-6354-9599 FAX 06-6354-9598

この印刷物は古紙配合率 100%再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

0509HR V1.0